

音楽芸能スタッフ科 照明コース 1年次 受講科目一覧

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 45 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅰ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅰ（後期）	34	2	1
講義	一般教養Ⅰ	68	2	4
講義	音楽史Ⅰ	68	2	4
講義	舞台知識Ⅰ	68	2	4
講義	P C 知識Ⅰ	68	2	4
講義	コンサートスタッフ知識Ⅰ	68	2	4
実習	イクイップメントⅠ	68	2	2
実習	照明Ⅰ	68	2	2
実習	C A DⅠ	68	2	2
実習	デザインⅠ	68	2	2
演習	スタッフワーク基礎Ⅰ	68	2	4
演習	スタッフワーク応用Ⅰ	68	2	4
講義	業界知識Ⅰ	72	2	4
合計		888	26	42

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養 I		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	一般教養 I	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
①企業に就職するために必要な一般教養としての知識とスキルを身に付ける。 ②人として信頼されるための第一印象の重要性、ビジネスマナー(マナーの5原則・敬語・電話対応など)、履歴書の作成方法、面接対策。 ③卒業後の自分を見据えるためのキャリアビジョンを設定し、実現に向けて何が必要かを考えていく。							
到達目標							
・社会人になるための心構え、教養、作法を身に付け、自身の目標を明確にし、その目標に向かってのプランニングができるようになる。 ・身だしなみや挨拶の仕方、正しい敬語の使い方など社会人として必要な一般常識、並びに名刺交換の作法、電話対応、ビジネスメールの書き方など、ビジネスマナーの知識を身に着ける。 ・就職活動の際に必要な履歴書及びエントリーシートの作成ができるようになる。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・自分の第一印象は？、信頼印象力、自己分析 ・キャリアビジョン(目標設定)
【前期】 4～7回目	・マナーとは？、マナーの5原則 ・就活の身だしなみ ・敬語とは？(尊敬語、丁寧語、謙譲語、クッション言葉、間違えやすい敬語、自己紹介文作成)
【前期】 8～10回目	・コミュニケーション(グループコンサルティング) ・電話応対(かけ方、受け方、取り次ぎ方)
【前期】 11～13回目	・ビジネスメール ・就活についての基本事項、企業研究
【前期】 14～17回目	■前期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自分の第一印象・キャリアビジョンについての自分の考えをまとめたものを記述する。
【後期】 18～20回目	・キャリアビジョン(自己分析) ・企業研究、自己PR、志望動機作成 ・感情のコントロール
【後期】 21～24回目	・履歴書作成 ・エントリーシート作成 ・面接練習(個人、グループディスカッション)
【後期】 25～27回目	・一般常識、SPI対策 ・名刺交換 ・冠婚葬祭マナー
【後期】 28～30回目	・面接対策 ・履歴書写真撮影、メイク ・食事のマナー
【後期】 31～34回目	■後期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自己PRをまとめたものを記述する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分の第一印象について知ること、自分の長所をどのように活かし、短所をどのように変えていけばよいのかについて考え、自己成長につなげて行きましょう。 また、社会人として必要なビジネスマナーや一般常識も学んでいきます。自分のキャリアを考える一年にしましょう。
備考	授業ごとに講師が準備した教材を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音楽史Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音楽史Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	自らのバンド経験を生かし、福岡を中心に楽器スタッフやイベントスタッフとして活躍。近年ではNUMBER SHOT・中洲ジャズ・Sunset Liveなどにもスタッフとして参加。 上記の経験を活かしポピュラーミュージックの歴史についての講義を行う。				
授業概要					
①ジャズやブルースの時代まで遡り、1950年代のエルヴィス・プレスリーや1960年代のビートルズなど、その時代を象徴するアーティストを時代背景と並行して学ぶ。 ②現代のポピュラーミュージックに至るまでの流行や低迷の歴史、並びに変遷を学び一つの事柄(ジャンルや、アーティスト、楽曲等)に対して深く掘り下げ、他との関連性を調べる習慣を身に付け、「知る」という行為、「探究心」を育てる。					
到達目標					
・数々のジャンルや時代背景についての理解を深め、実際に現場で演者が目指すであろう音楽像を様々な音楽ジャンルの中より察知し、具体的な提案や技術提供ができる人物になる。 そして音作りや演出等に活かせるよう感性を磨き、担当するアーティストの活動がより良いものとなるよう常に研究・模索する人物であること。					
・音楽業界人の一般教養として、あるいは、音楽についての会話を通じて、円滑なコミュニケーションを図る一つのツールとなる様、その知識を活用できる人物になること。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ジャズ、ブルースの誕生と時代背景の講義。
【前期】 4～7回目	1950年代のロックンロールの誕生などアメリカにおける流行音楽の講義。
【前期】 8～10回目	1960年代のビートルズの登場などイギリスにおける流行音楽の講義。
【前期】 11～13回目	1970年代以降、多様化するロックのジャンルの概要についての講義。
【前期】 14～17回目	■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	ハードロックの流行や多数の派生ジャンルの登場などの講義。
【後期】 21～24回目	1980年代のメタルやポップスの流行、MTVの登場などの講義。
【後期】 25～27回目	1990年代の様々な流行音楽の講義。
【後期】 28～30回目	その他、様々なジャンルについての講義。
【後期】 31～34回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知ることはとても重要なことのひとつです。 授業を通して学んだことは、音作りや演出などに直接反映され、将来の仕事に繋げることができます。
備考	授業毎に講師作成の資料データを共有

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	電気・舞台知識Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	舞台知識Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	山口県・福岡県を中心に、音響オペレーターとしてブライダルをはじめ各種イベントや式典などの音響業務を担当。学生時代は電気科に所属、機材の設営を伴う現場では当時学んだ電気の知識を現在の業務に活かし活動。これらの経験を活かし、現場に役立つ知識を教授する。				
授業概要					
音楽・芸能・舞踏その他における、電気・舞台の基本知識と応用を身に付ける。華やかな演者の表舞台を裏から支えるスタッフの重要性を学ぶ。					
到達目標					
・様々な音響照明舞台現場に於ける一般常識やエンターテインメント業界の裏側の一般的な知識を身に付け、校外現場にも対応し社会人・業界人として活躍出来るよう学習する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	劇場舞台に関しての講義①:社会の中での芸能とホール の存在意義・日本の公立劇場とホールについて
【前期】 4～7回目	劇場舞台に関しての講義②:欧州のホール の歴史、構造と文化的背景・ホール、劇場の性能と機能について
【前期】 8～10回目	劇場舞台に関しての講義③:文化芸術政策と劇場ホールについて
【前期】 11～13回目	劇場舞台に関しての講義④:劇場・音楽堂 その設備と運用について
【前期】 14～17回目	■前期試験:前期授業内容より抜粋して筆記試験を行う。
【後期】 18～20回目	電気・電流に関しての講義①:電気とは?・感電の恐怖及び対策について
【後期】 21～24回目	電気・電流に関しての講義②:電気極性・電流・電圧・抵抗／電源計
【後期】 25～27回目	電気・電流に関しての講義③:劇場舞台での電源の取り方。
【後期】 28～30回目	電気・電流に関しての講義④:劇場舞台照明電源について。
【後期】 31～34回目	■後期試験:後期授業内容より抜粋して筆記試験を行う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	舞台やイベントの現場では電気の知識や舞台の仕組みを理解しておくことがとても重要です。特に電気は正しい知識を持っていないと事故やケガにも繋がります。どんな現場でも必要となる知識なので、しっかり勉強しておけば将来必ず役に立ちます。一緒に頑張りましょう。
備考	教材として「舞台技術の共通基礎」を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	PC知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
情報に関する法規・制度や情報社会における個人の責任、情報モラル、個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的などの情報リテラシーからWord/Excel/PowerPointなどの基礎的なオフィスソフトの使い方を理解して就職後に必要な最低限の技術を身に付ける。					
到達目標					
・情報や情報メディアの特性をふまえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および情報モラルについて理解する。 ・情報技術が人や社会にはたす役割と及ぼす影響について理解する。 ・Word(文書作成)、Excel(表計算)、PowerPoint(プレゼンテーション)といったそれぞれの特性を理解し、与えられた文書と同様の文書を作成できることを目標とする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	著作権、肖像権等について/スピード検定を使ってキー入力を習得・Wordで案内状の作成
【前期】 4～7回目	知的財産権について/Excelの基本を学ぶ
【前期】 8～10回目	デジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【前期】 11～13回目	音のデジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【前期】 14～17回目	画像のデジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【後期】 18～20回目	動画のデジタル化について/情報処理検定試験を使ってExcelの知識を深める
【後期】 21～24回目	ネットワークについて/情報処理検定試験を使ってExcelの知識を深める
【後期】 25～27回目	TCP/IPについて/HTMLを使ってホームページを作成
【後期】 28～30回目	データの圧縮について/PowerPointを実習する
【後期】 31～34回目	データの暗号化について/PowerPointを実習する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験と実技での作品により「平常点 /意欲 /PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Word/Excel/PowerPointは、ビジネスで標準的に使われているOfficeソフトウェア群です。これを使いこなすことは、仕事をする上で欠かせない技能になります。さらに、シンギュラリティを迎える20年後において、コンピュータの基礎基本を学ぶことは、それに順応できる力となります。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明知識Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	コンサートスタッフ知識Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	音楽系として北九州ロックフェス、10神アクター、FREAK、などのLIVEを担当、スポーツ系としてB1長崎ヴェルカ、J1サガン鳥栖、アビスパ福岡、F1ボルクバレット北九州 ヴリーグカノアラウレアーズ福岡などの空間演出を担当、その他にもClubやラウンジ、結婚式場、ホテル等の空間をプロデュース					
授業概要						
照明における専門基礎知識を学び、仕込みからバラシまでの一通りをできるようになる。						
到達目標						
コンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きを説明して、ホール内や郊外研修で実践させる。 ・カリキュラム終了時には一人のスタッフとしてカウントできる様なスキルを身につけ、楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るようなデザイン能力、操作能力を習得する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	寸法関係、照明で使う専門用語について/カラーフィルターの学習
【前期】 4～7回目	一般照明について/電気容量など
【前期】 8～10回目	DMXについて/信号の流れについて
【前期】 11～13回目	ムービングライト/LEDライトについて
【前期】 14～17回目	■前期試験:現場での作業手順を質問化して筆記試験。
【後期】 18～20回目	LEDスポットの色表現の理論。
【後期】 21～24回目	ムービングスポットCMYカラーの理論。
【後期】 25～27回目	ユニット(ディマー関係)について
【後期】 28～30回目	照明システムの応用
【後期】 31～34回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	色の意味や印象を理解することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
使用教科書	必要な箇所、資料作成や、映像を見せながら対応します。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明システムⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	イクイップメントⅠ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐					
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。株式会社LILEON代表取締役。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし照明システムに関する講義を行う。					
授業概要						
電源ユニット、調光卓、灯体やその他周辺機器の安全かつ正しい取り扱い方法を学ぶ。総合的に照明のシステム構造を理解する事で、オペレート技術の向上にも反映していく。						
到達目標						
・コンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きを説明して、ホール内や郊外研修で実践させる。 ・カリキュラム終了時には一人のスタッフとしてカウントできる様なスキルを身につけ、楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るようなデザイン能力、操作能力を習得する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	学校機材の説明、電源の説明。
【前期】 4～7回目	学校機材の説明、電源の説明。
【前期】 8～10回目	劇場の照明バトンについての学習。
【前期】 11～13回目	劇場の照明バトンについての学習。
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	さまざまな照明機材の特性について。
【後期】 21～24回目	ムービングライトを中心にした機能の学習。
【後期】 25～27回目	照明全般のシステムを理解する。
【後期】 28～30回目	スモークマシンなど照明効果の為のアイテムの説明。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	照明の知識を習得することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
備考	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明オペレートⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	照明Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。株式会社LILEON代表取締役。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし電気と舞台全般における講義を行う。					
授業概要						
①電源の入れ方やパッチの手順などの基本操作、並びにチェイスやストロボなど様々な機能を学び、メインコンソールのオペレート技術を身につける。 ②ピンスポットオペレーターやムービングスポットオペレーターとしての技術も同時に学んでいく。 ③最新式の照明コントローラを使用してムービングライトを含めた様々な照明機材の操作方法のレクチャー、ピンスポットの操作方法を繰り返し訓練する。						
到達目標						
・学内の授業だけではなく、学外のコンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きや舞台構造を説明して、より照明スタッフとしての幅広い知識を習得する。 ・楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具現化出来るようなデザイン能力、操作能力を身につける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	照明機材と、その使用方法の説明①
【前期】 4～7回目	照明機材と、その使用方法の説明②
【前期】 8～10回目	ピンスポットの使用方法、キューに反応できるスキルの習得。
【前期】 11～13回目	照明キューの解説。
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業内容からの筆記試験を実施。内容を理解しているかを問う。
【後期】 18～20回目	照明コントローラーの基本的な使用方法。
【後期】 21～24回目	照明の方向性とビームのコンビネーション。
【後期】 25～27回目	サンプル曲を使った照明キューの作成①
【後期】 28～30回目	サンプル曲を使った照明キューの作成②
【後期】 31～34回目	■後期試験：実技試験を実施。課題を設定して、指示通りに照明コンソールを操作できるかの確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインコンソールのオペレート技術を習得することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	CADオペレートⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	CADⅠ	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。株式会社LILEON代表取締役。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、よしもと福岡劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かしCADオペレートの実技指導を行う。						
授業概要							
①CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び、舞台照明における仕込み図、平面図や立面図の製作を行う。 ②実際に様々なイベントの仕込み図を製作し、各シチュエーションにおける製作技術を身につけるとともに視覚的に照明の全体構造を理解する。							
到達目標							
・CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び授業内で与えられた課題を指示通りに図面を作成して、仕込み図を完成できるようになる。同時にPCの使用方法を学び、作業の正確性やショートカットを習得してスピーディーに図面作成することが出来るようにする。 ・作成を通じて、舞台照明における仕込み図、平面図、立面図の理解を深める。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基本的なCADにおけるPCの使い方を把握する①
【前期】 4～7回目	基本的なCADにおけるPCの使い方を把握する②
【前期】 8～10回目	与えられた課題を図面に落として仕込み図を作成
【前期】 11～13回目	与えられた課題を図面に落として仕込み図を作成
【前期】 14～17回目	■前期試験：実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	舞台図面書き写し①
【後期】 21～24回目	舞台図面を書き写し②
【後期】 25～27回目	舞台図面を書き写し&照明図面を作成する①
【後期】 28～30回目	舞台図面を書き写し&照明図面を作成する②
【後期】 31～34回目	■後期試験：実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分で照明図面を作成して、仕込み図面の見方を把握して現場でも役立てる。図面は命。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	色彩デザインⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	デザインⅠ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	長年ライブハウスにて照明スタッフとして在籍。多くの照明オペレータを担当。 現在フリーランスとしてフェス現場やアーティストの乗り込みオペレーターとしても活動中。					
授業概要						
「色はなぜ見えるのか」、「色を認識する人間の眼の仕組み」、など根本的なところから、配色の基本的な考え方や色彩の心理的効果などを学び、照明として必要な色彩に関する知識を身につける。						
到達目標						
・楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るような空間デザイン能力、操作能力を習得する。 ・LED(RGB)のカラーミックス、ポリカラー、LEEカラーを理解する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	カラーフィルターの学習①
【前期】 4～7回目	カラーフィルターの学習②
【前期】 8～10回目	カラーフィルターの学習③
【前期】 11～13回目	色とそれに喚起される印象。
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業範囲内より筆記試験を実施。授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	LEDスポットの色表現の理論。
【後期】 21～24回目	ムービングスポットCMYカラーの理論。
【後期】 25～27回目	色温度の理解。
【後期】 28～30回目	カラーフィルターの取り扱い。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	色彩の効果を学び豊かな感性とデザイン力を楽しく学びましょう！
備考	必要に応じて資料の配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク基礎Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	スタッフワーク基礎Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	長年ライブハウスにて照明スタッフとして在籍。多くの照明オペレータを担当。 現在フリーランスとしてフェス現場やアーティストの乗り込みオペレーターとしても活動中。					
授業概要						
他セクションのスタッフと連携し、仕込みから本番まで実践的なライブ、スタッフとして必要な実技能力を養う。 トラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。						
到達目標						
・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。 ・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	工具や機材、ホールの設備を理解して仕込み作業の練習①
【前期】 4～7回目	ホールの設備を理解して仕込み作業の練習②
【前期】 8～10回目	照明コントローラーの習得①
【前期】 11～13回目	照明コントローラーの習得②
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期復習、照明機材の取り扱い① ピンスポットの仕組み
【後期】 21～24回目	照明機材の取り扱い② ピンスポットの使い方
【後期】 25～27回目	照明コントローラーの習得③
【後期】 28～30回目	実践練習。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	実際の現場がどのように行われているかの流れや機材の特性を理解していきましょう
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク応用 I		授業形態 / 必選	演習	選択					
	学則別表上表記	スタッフワーク応用 I	年次	1年次						
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位					
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明									
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □									
担当講師 実務経歴	長年ライブハウスにて照明スタッフとして在籍。多くの照明オペレーターを担当。 現在フリーランスとしてフェス現場やアーティストの乗り込みオペレーターとしても活動中。									
授業概要										
他セクションのスタッフと連携し、仕込みから本番まで実践的なライブ、スタッフとして必要な実技能力を養う。 トラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。										
到達目標										
・授業を通じてイベントの仕込みから本番オペレーターまで、一連の動きを習得する。 ・スタッフ同士の連携や、他のセクションとのコミュニケーション、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける										

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	工具や機材、ホールの設備を理解して仕込み作業の練習①
【前期】 4～7回目	ホールの設備を理解して仕込み作業の練習②
【前期】 8～10回目	照明コントローラーの習得①
【前期】 11～13回目	照明コントローラーの習得②
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う
【後期】 18～20回目	前期復習、照明機材の取り扱い① ピンスポットの仕組み
【後期】 21～24回目	照明機材の取り扱い② ピンスポットの使い方
【後期】 25～27回目	照明コントローラーの習得③
【後期】 28～30回目	実践練習。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	実際の現場がどのように行われているかの流れや機材の特性を理解していきましょう
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅠ		授業形態 / 必修	講義	必修	
	学則別表上表記	業界知識Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	☐	非該当 ■
担当講師 実務経歴						
授業概要						
音楽業界に関わる様々な業種について理解を深めることで、音楽業界の仕組みを学ぶ。						
到達目標						
前期では音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割とコンサート業界、レコーディング業界 の仕事内容について学びます。						
後期では音楽ビジネスに関わる権利、著作権、印税の仕組み、著作物について学びます。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽業界の仕組み① 音楽業界のお仕事～プロダクションの働きについて理解する 音楽業界の仕組み② レコード会社の働きについて理解する 音楽業界の仕組み③ 音楽出版社とJASRACの働きについて理解する
【前期】 4～7回目	イベント・コンサート業界の仕組み イベント・コンサートに関わる各セクションの仕事について理解する コンサート制作の仕事 イベントやコンサート制作会社の働きについて理解する コンサートスタッフの仕事 舞台監督や各業種の仕事内容について理解を深める コンサート関連の技術系の仕事の流れ PA・照明・ローディーの仕事の流れについて理解を深める
【前期】 8～10回目	業界用語と舞台用語 業界や現場で使われる用語を理解する 音源制作の仕事① CDが出来るまでの流れと楽曲発注について理解する 音源制作の仕事② プリプロ～レコーディングの流れを理解する
【前期】 11～13回目	音源制作の仕事③ マスタリングについて理解を深める 音源制作の仕事④ ジャケット制作について理解する 音楽ビジネスの現状 変化する音楽産業とミュージシャンの収入について
【前期】 14～18回目	ここまでのまとめとテスト 前期テスト テストの解説
【後期】 19～21回目	音楽ビジネスに関わる権利 ① ミュージシャンに関わる権利について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ② 著作権について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ③ 実演家とレコード製作者の両方に認められている権利について理解する
【後期】 22～25回目	音楽ビジネスに関わる権利 ④ 原盤について理解する 著作権管理事業の現状 著作権管理事業について理解する JASRAC の問題点 JASRAC の功罪などについて理解する 著作権に関わる印税の仕組み① CD販売の場合の著作権使用料による印税収入などについて理解する
【後期】 26～28回目	著作権に関わる印税の仕組み ② 動画投稿(共有)における著作権使用料などについて理解する 著作権に関わる印税の仕組み ③ 放送使用における著作権使用料について理解する 著作権隣接権に関わる印税の仕組み アーティスト印税の計算などについて理解する
【後期】 29～31回目	著作権にまつわる問題点 インターネットの普及でばら撒かれる海賊版の氾濫などについて理解する 著作物を利用する方法① ビジネス契約と著作権～「所有権」と「著作権」について理解する 著作物を利用する方法② 著作物の自由利用について理解する
【後期】 32～36回目	ここまでのまとめとテスト 後期テスト テストの解説
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	ホームルームも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。